

# 喜志小だよ！

令和元年10月号  
富田林市立  
喜志小学校

10月は「神有月」

「楽しい」は 真面目にやる時 付いてくる

校長 塩野 義和



2学期に入っても、喜志小は好調で、うれしい事が更に増えました。『奇跡の復興

米』稲刈り（5年生）に代表されるように、「楽しかった」「しっかりできた」「やっ

てみたらできた（やらないとわからなかった）」という子どもたち。それは、子どもた

ちが真剣に、真面目に取り組んだからこそその声。それは、地域の方々の支え、励まし、

協力があってこそその声。それは、先生方の指導があってこそその声。5年生の

一生懸命が、すぐに地域に広まり、「喜志小の子どもら（=全児童）、すごいなあ。」

となりました。続く避難訓練（全員）でも、静かに素早く安全に避難する事ができ、

消防署の方からも「実に素晴らしい避難（訓練）です。」とほめて頂きました。

さて、10月。旧暦では「神無月」と言います。全国に散在している神々が、この

10月だけいなくなる、つまり神様がいない月なので「神無月」。しかし、出雲国（今

の島根県）では、昔からこの10月を「神有月」と呼んでいます。なぜなら、10月に

は、神様たちの話し合いが出雲国で行われるので、神様が全員いる月、つまり「神有

月」となっています。

『あなたが何をしても（良い行いも、良くない行いも）、お天道様が見ているよ。』

誰も気づいてくれない良い行いも、神様は気づいてくれているからもっとやろう、

誰にもばれない良くない行いも、神様にはばれているからやめよう、だから心の中は、

年中「神有月」。

さあ、10月。いよいよ大いに遊べ、大いに学べる絶好の月がやってきました。

6年生は、修学旅行に行きます。日頃の生活も含め、前半戦以上に一生懸命、

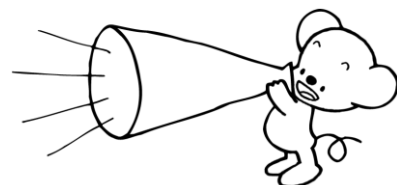
真面目にやっていたら、前半戦で得た「楽しい」以上の「すごい楽しい」が、前半戦で

得た「ようやってる」以上の「すごいようやってる」が、必ずやってきます。いよいよ

よ6年生（=喜志小の顔）の出番です。他の学年の見本になるぞ！（1～5年生は、

6年生のいいところをどんどん真似してね！）

喜志小 10月もみんなでやるDAY！！



【地域の方々に支えられて学校があります】

学校の環境整備、学習の取り組み、見守り隊など登下校の安心安全など、学校だけ

ではなく、地域の方々が様々な形でご協力いただいています。

8月23日、9月15日には、総勢9名の地域の方々と、本校運動場の土の掘り起こし、

整備を行っていただきました。運動場の土がやわらかく、水はけもよくなりました。

ありがとうございました。

また、5年生の学習で、田植え、稲刈、脱穀など「稲作」の学習と、東日本大震災

について学習する一環としての、岩手の「大槌町復興米」栽培についても、いつも

地域の方々にご協力をいただいております。



さらには、子どもの登下校の安全安心のための

見守り隊活動において、新しく参加を申し出て頂

き、活動に加わって頂いた方もおられます。

喜志小ががんばって取り組みができるのも、さま

ざまの方のご協力があることです。

学校といたしましても、ご協力いただいている

方々に様々な形で、感謝をお伝えしていきたいと思っております。

【学習参観において、バザー品のご提供、

IDカードの着用のご協力ありがとうございます】

学習参観において、バザー品のご提供ありがとうございました。バザー品の提供に

おいては、10月1日（火）からも受け付けますので、ご協力お願いいたします。

また、参観時に校内に入られる際、IDカードの着用のご協力ありがとうございます

ました。校内においては、学校関係者全員が、保護者であることが一目でわかるよう、

IDカードの着用をお願いしています。学校内で、児童が安全安心に活動できますよ

う、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。